

# CASBEE®-建築(新築)

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2021SDGs(v1.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	プレス工業藤沢工場厚生棟建替計画	階数	地上2F
建設地	藤沢市遠藤2003番地の1	構造	S造
用途地域	工業専用地域・法22条指定区域	平均居住人員	1,510 人
地域区分	7地域	年間使用時間	1,920 時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年5月 予定	評価の実施日	2024年2月19日
敷地面積	3,388 m <sup>2</sup>	作成者	(株)鴻池組東京本店一級建築士事務所
建築面積	1,856 m <sup>2</sup>	確認日	2024年2月22日
延床面積	3,514 m <sup>2</sup>	確認者	(株)鴻池組東京本店一級建築士



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO <sub>2</sub> (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p><b>BEE = 1.2</b> ★★★★★</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p><b>標準計算</b></p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p><b>Q 環境品質</b> Qのスコア = 2.4</p>		
<p><b>Q1 室内環境</b> Q1のスコア = 2.5</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b> Q2のスコア = 2.7</p>	<p><b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> Q3のスコア = 2.1</p>
<p><b>LR 環境負荷低減性</b> LRのスコア = 3.8</p>		
<p><b>LR1 エネルギー</b> LR1のスコア = 4.4</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b> LR2のスコア = 3.4</p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b> LR3のスコア = 3.3</p>

3 設計上の配慮事項		
<p><b>総合</b> 湘南台駅及び六会日大前駅から自転車で約12分の工業専用地域に事務所を計画した。</p>	<p><b>その他</b> 特になし</p>	
<p><b>Q1 室内環境</b> 照度が500lx以上1000lx未満。 JIS・JAS規格のF★★★★をほぼ全面的に採用している。</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b> 給水SUS(C)、給湯SUS(C)、排水VP(B)。 階高: 3.9m以上。 0.1 ≤ [壁長さ比率] &lt; 0.3。</p>	<p><b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> 特になし</p>
<p><b>LR1 エネルギー</b> BPI<sub>m</sub>=0.78。 [BEI][BEI<sub>m</sub>] = 0.4、LED照明設備を導入。</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b> 自動水栓に加えて、節水型便器も採用している。 「躯体+軽鉄+仕上げ材」により、躯体と仕上げ材が容易に分別可能。 ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。</p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b> ライフサイクルCO<sub>2</sub>排出率57%</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される